

学部紹介 ※募集については毎年12月1日号(予定)の広報ふなばしで案内します。

学部・学科 2学部・8学科(全学科 18歳以上)

※各学科とも授業は週1回、年間35回程度行います。いまいき学部は年に3回の共通講座があります。

まちづくり学部 / 授業料:無料

学科名	主な活動場所	定員	曜日	時間
ボランティア養成	市民大学校校舎	30	水	10:00~12:00
スポーツコミュニケーション	中央公民館ほか	30	月	19:00~21:00
生涯学習コーディネーター養成	市民大学校校舎ほか	30	金	10:00~12:00
ふなばしマイスター	市民大学校校舎ほか	30	火	10:00~12:00

いまいき学部 / 授業料:年額1万円 クラス会費別途徴収あり

学科名	主な活動場所	定員	曜日	時間
くらしの教養1	市民大学校校舎ほか	36	木	10:00~12:00
くらしの教養2		36	木	14:00~16:00
こころとからだの健康1	市民大学校校舎ほか	36	月	10:00~12:00
こころとからだの健康2		36	月	14:00~16:00
パソコン1	市民大学校校舎	25	月	10:00~12:00
パソコン2		25	月	13:00~15:00
パソコン3		25	火	10:00~12:00
パソコン4		25	火	13:00~15:00
園芸1(野菜)	御滝花園、北部公民館 アンデルセン公園ほか	25	木	10:00~12:00 8月 9:00~11:00
園芸2(花)		25	木	14:00~16:00 8月 13:00~15:00

※各学科授業+共通講座+クラス会活動
 ※学科名の最後尾の数字は授業の管理番号です。数字を除く学科名が同じ場合は園芸学科を除き、学習内容は同じです。
 ※パソコン学科:テキスト代を別途徴収します。
 ※こころとからだの健康学科・園芸学科:教材費を別途徴収します。
 ※くらしの教養学科・こころとからだの健康学科:施設利用料等を別途徴収します。
 ※園芸1(野菜)は授業以外に週2回園場管理を分担して行います。

ふなばし市民大学校

FUNABASHI SHIMIN DAIGAKKOU

沿革

昭和58年 老人大学開校
 昭和61年 スポーツ健康大学開校
 平成10年 ボランティア大学開校
 平成12年 生涯学習コーディネーター養成講座開講
 平成16年 ふなばし市民大学校開校
 平成22年 ふなばしマイスター学科開設
 平成25年 学科名称変更

- ・スポーツコミュニケーション学科
- ・ボランティア入門学科
- ・生涯学習サポート学科

令和2年 カリキュラム改変
 学科開設

- ・こころとからだの健康学科
- ・ライフデザイン学科

学科名称変更

- ・ボランティア養成学科
- ・生涯学習コーディネーター養成学科
- ・くらしの教養学科

令和4年 校舎移転

ふなばし市民大学校

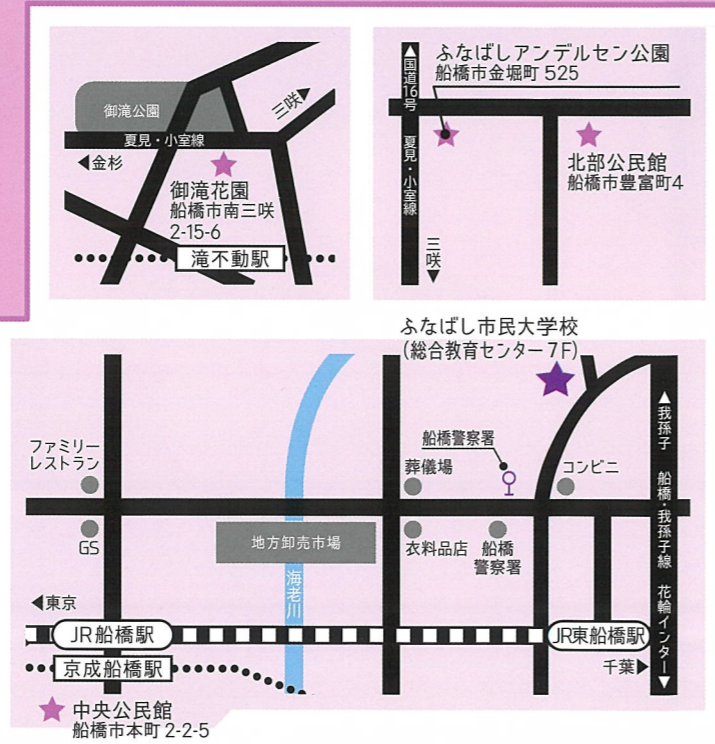
ふなばし市民の学びと活力と繋がり
 の場所
 FUNABASHI SHIMIN DAIGAKKOU



ふなばし市民大学校 案内図

〒273-0863船橋市東町834(総合教育センター7階)
 TEL・047-460-6311 FAX・047-460-6312
 E-mail・shimindai@city.funabashi.lg.jp

アクセス:
 JR東船橋駅下車徒歩約23分
 JR船橋駅北口3番バス乗り場から「飯山満駅」「北習志野駅」
 「古和釜十字路」行きに乗車、「船橋警察署」下車徒歩約15分



まちづくり学部

まちや地域に関心を持ち、自分に合ったボランティア活動につながる知識や技術の習得を目指します。

スポーツで地域の皆さんの健康を支えるボランティアを目指します。

スポーツコミュニケーション学科

船橋市は「人」も「まち」も健康でありたいという願いから「スポーツ健康都市」を宣言し(昭和58年10月10日)、スポーツをとおして笑顔あふれる健康な地域づくりを目指しています。スポーツコミュニケーション学科は、「いつでも、どこでも、誰でも」楽しめるスポーツの普及を担うコミュニティ・リーダーの養成を目指し、スポーツなどの専門知識(資格取得を含む)やイベント企画立案を学びます。修了後は市内各地域で活躍している先輩達とともに活動する場もあります。



自分らしいボランティア活動と一緒に探しませんか。

ボランティア養成学科

ボランティアをしてみたい、自分に合った活動を探したいと考えている方にピッタリの学科です。カリキュラムは「まちを知る」「専門知識を学ぶ」「実習」の3つの構成から成り、楽しく学びながら自分に合った活動に出会えます。また、体験実習では実習団体とのマッチングを行い、自分に合ったボランティア活動を体験し、修了後の活動につながります。

目指すは、まちの「学び」の仕掛人

生涯学習コーディネーター養成学科

生涯学習コーディネーターは、地域の「人」「組織」「施設」などの学びを通じたつながりを作る「要」となる人のことです。カリキュラムは「専門知識」「コーディネーターの基礎技法」「実習」の3つの要素から成り、修了後は、「拠点は公民館!フィールドはまち!」を合言葉に、OBの皆さんと共に活動し、「学び」とおした活気あふれるまちづくりに参画します。



ふなばしの魅力を発信できる人材になりませんか。

ふなばしマイスター学科

船橋の歴史・文化・産業などの学習や研究をとおして「ふなばしの魅力」を再発見し、その魅力を紹介(案内)できる人を目指します。船橋の魅力をもっと知りたい!人に伝えたい!という方にお勧めの学科です。講義や現地学習をとおして船橋の知識を深めることを中心に、地域案内(街歩き)の体験実習を行うほか、1年通して各自で地域研究を行い、報告書の作成、発表も行います。修了生は、各自の研究を深めながら、ガイドや講師として活躍しています。



いきいき学部

授業やクラスでの活動をとおして、知識を共有した仲間との関係づくりをおこないます。

自分らしく健康な生活は、こころとからだのバランスから!!

こころとからだの健康学科

自分らしく健康で、豊かな生活を送るためのきっかけづくりとするため、学びをとおしてこころとからだの健康を保つことを目的とします。カリキュラムは、こころとからだの仕組みの講義から、俳句や陶芸などの創作活動、各種軽スポーツや音楽・脳活などの運動・音楽体験など。新たな趣味を見つけることができるかもしれません。



楽しく学び、心豊かに生きるきっかけを見つけませんか!

くらしの教養学科

楽しく学び、心豊かにくらしを送るきっかけづくりとし、身体的にも経済的にも自立するための学びの機会です。カリキュラムは、地元船橋を知る、一般教養、人間関係の変化、健康長寿、金融経済など幅広く楽しく学ぶことができます。



パソコンを初めて触る方には最適な授業です。

パソコン学科

パソコンの基本操作、ワード(文書作成)、エクセル(表計算)、写真の編集など初心者を対象として、くらしの中で使えるパソコンの利活用について学びます。



園芸学科

実用的な園芸の基礎や病害虫の知識を、園芸学科1は野菜づくり、園芸学科2では草花の育て方の実習をとおして学びます。



※園芸1は授業以外に週2回圃場管理を分担して行います。 ※8月は授業時間が異なります。 (園芸1 9:00~11:00 園芸2 13:00~15:00)

ふなばし市民大学 学長あいさつ 船橋市長 松戸 徹



ふなばし市民大学は昭和58年に開校した千葉県初の市立の老人大学と、その後が始まったスポーツ健康大学、ボランティア大学、生涯学習コーディネーター養成講座を統合して平成16年に開校しました。現在は、まちづくり学部、いきいき学部の2つの学部それぞれ4つの学科を設けています。これまでに7,700人以上の修了生を送り出し、多くの方が知識や技術を身につけるだけに留まらず、学びを通じて新たな友人関係やネットワークを築き、修了後も地域や社会の力となって活躍されています。第3次船橋市総合計画の中では、市民が生涯にわたって、ライフステージに応じた生

き方や学び方、働き方を選択することができる環境づくりを推進しており、ふなばし市民大学では、市民の皆様の学び意欲を応援するため、幅広い年齢層に向けたカリキュラムを用意しています。現在は人生100年時代の到来や情報通信技術の発達などにより、様々なことに取り組むチャンスが多い時代ともいえます。ふなばし市民大学のそれぞれの学科で、学習に、健康づくりに、ボランティア活動に、多くの知識や技術を学び得ていただき、これからの活動に役立てていただきたいと思います。

ふなばし生涯学習チャンネル

動画サイトYouTubeの「ふなばし生涯学習チャンネル」ではふなばし市民大学の授業を動画で紹介しています。動画はコチラから→



史跡取掛西貝塚保存活用計画（素案）【概要版】

大綱 海とともに発展してきた「ふるさと船橋」の歴史的起点である取掛西貝塚を、地域の財産として市民とともに永く伝え、守り、活かす

（１）計画の趣旨

国史跡取掛西貝塚は、千葉県船橋市飯山満町1丁目から米ヶ崎町にまたがる約1万年前（縄文時代早期前葉）の貝塚が発見された、日本の歴史を知る上で欠かせない、学術的価値が高い重要な遺跡である。本質的価値を明らかにした上で、史跡を適切に保存管理する考え方と方法、今後の活用・整備に関する方法や体制についての考え方、史跡の将来像を示し、地域住民や市民とともに、史跡を活用しながら確実に保存し、後世に継承するため、文化財保護法第129条の2に基づき本計画を策定する。

（２）計画期間

令和6（2024）年4月1日～令和16（2034）年3月31日【10年間】

（３）取掛西貝塚の価値と重要性

① 日本列島における最古級貝塚

約1万年前にはグローバルな気候温暖化による大きな環境変動に適応して、定住的な新しい生活様式が確立し、日本列島で初めて貝塚がつくられた。約1万年前の貝塚は全国で10か所と非常に少なく、貴重である。国史跡に限ると取掛西貝塚の他には神奈川県夏島貝塚しかなく、さらにムラと貝塚の両方が残る史跡は取掛西貝塚だけである（国史跡貝塚の分布は3ページ下図参照）。

取掛西貝塚は、日本列島における最初期の貝塚形成期の生活のあり様がわかる貴重な遺跡である。また、稲作農耕社会の弥生時代中期の集落も残されており、狩猟採集社会から稲作農耕社会までの永い歴史を考えることができる。

② 東京湾東岸部（千葉県）での重要性

縄文時代の貝塚のうち全国の約3割は関東地方にあり、特に東京湾東岸部は全国一の貝塚密集地帯で、縄文時代中期から後期のものが多く形成されている。船橋市には、この地域の貝塚形成初期にあたる縄文時代早期前葉の取掛西貝塚と後葉の飛ノ台貝塚のほか、縄文時代の各時期の貝塚が存在している。船橋市は、東京湾東岸部で通時的に貝塚から人々のくらしを学ぶことができる唯一の地域である。

③ 船橋市での重要性

船橋市には、縄文時代早期から江戸時代までの貝塚や集落遺跡が多くあり、江戸時代以降、東京湾の魚介類を利用した産業が栄えている。中世には海老川河口に湊があり、古くから水陸交通の要地で、江戸時代には宿場町として、近現代は海水浴場としても賑わった。取掛西貝塚は、海とともに発展してきた船橋の歴史的起点として重要で、日本列島の歴史と海洋適応の実態を伝える貴重な遺跡である。

本質的価値の総括的な明示

縄文時代早期前葉の集落として、東京湾東岸部最古の貝塚と関東最大級の規模をもち、豊富な出土品から当時の生業や精神文化、居住の実態に迫ることのできる希少な遺跡

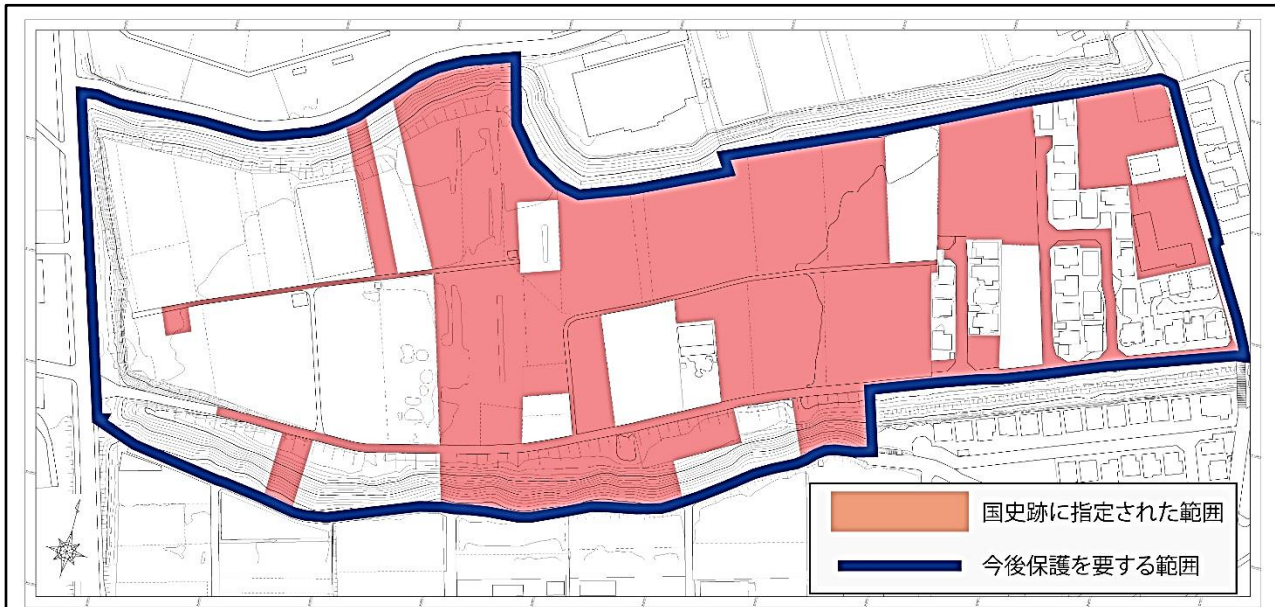
(4) 基本方針 1 - 「保存管理」

貴重な歴史的財産である取掛西貝塚を恒久的に保存し、未来へ継承する。

1. 本質的な価値を構成する要素の確実な保存

令和5年11月現在、保護すべき範囲のうち約47パーセントが未指定であり史跡を確実に保存し、継承するためには、保護すべき範囲全体の史跡指定が必要である。

また、保護すべき範囲の大部分が民有地であることから、史跡を確実に保存し、将来、史跡の整備・活用を行っていくために、公有地化を進める必要がある。



2. 地区区分に基づく保存管理方法の明確化と現状変更等取扱基準の設定

史跡を適切に保護するために、計画対象範囲を史跡指定地と未指定地に区分し、地区ごとに現状変更や保存に影響を及ぼす行為についての取扱基準を定める。

<現状変更等取扱基準の概要>

■ 史跡指定地

史跡の調査や保存のための行為以外の現状変更は原則として認めない。ただし、既存の建造物や道路などは、史跡の価値を損なわず、地下の遺跡に影響がない場合に限り、変更が認められる。また、遺跡や遺物を保護し、史跡の価値を広く共有するための整備を進める。

■ 未指定地

保護すべき範囲に含まれているが、追加指定までは文化財保護法に基づく、一般的な埋蔵文化財包蔵地と同じ扱いとなる。遺構が確認された場合は、土地所有者等の理解と協力のもと、可能な限り現状保存を図る。追加指定後は、指定地と同様の扱いとなる。

3. 史跡の適切な管理

雑草の繁茂を防ぎ遺跡内の環境を維持する。また、傾斜地の崩落防止措置の検討を行う。

4. 行政の連携と市民との協働による保存・管理

史跡の保存と整備について庁内の部署と連携するとともに、近隣住民と共通理解を図り、行政と市民の協働による保存・管理に向けた連携体制を構築する。

(5) 基本方針2－「活用」

様々な活用を通じて、取掛西貝塚の本質的価値をわかりやすく、正しく伝え、その魅力を向上させる。

1. 史跡の周知・啓発

令和3年度市政モニターアンケートでは、「取掛西貝塚を知っている」「名前を聞いたことはある」と回答したのは約25パーセントと認知度が低い。幅広い世代に史跡の周知を図るため、普及資料の作成・配布を行い、講演会・展示・見学会を開催し、SNS等での発信を継続・充実させる。また、現地で史跡の本質的価値を体感・体験できる機会の充実に努める。

2. 継続的な調査研究の実施と社会への還元

史跡の学術的な調査研究を進め、新たな遺跡の価値を掘り出し、講演会や刊行物等普及事業により市民に還元するとともに、日本の歴史研究に寄与する。

調査結果や調査対象資料に研究者がアクセスできる環境を整え、学術連携を進める。

3. 学校教育での活用推進

次世代の担い手となる子供たちが、学校で史跡の重要性や価値を学んで「ふるさと船橋」に愛着をもつことができるように、学校教育での活用を推進する。

4. 博物館等を拠点とした生涯学習の推進

生涯学習の拠点として博物館・資料館の展示等の充実をはかり、現地や生涯学習施設との連携により、生涯学習の推進をはかる。

5. 市内の遺跡や文化財を含む総合的な活用

市内の遺跡や周辺の文化財も含めた文化財保存活用地域計画の策定など、地域における総合的な活用を検討する。さらに国史跡貝塚をもつ他自治体等との連携など、市域にとどまらない、より広範な地域の視点からの活用を検討し、実現化を目指す。

6. 「市民の史跡」としての活用

市民が主役の史跡活用を目指す。

市民参加型の活用の検討を行い、実現を目指す。

7. 商業・観光と連携した文化財活用方法の検討

商業・観光と連携した文化財の活用について検討を進める。

将来の史跡整備計画の策定に際し、商業・観光と連携した史跡活用の視点も取り入れるよう検討する。



国史跡に指定された貝塚

(6) 基本方針3－「整備の方向性」

活用の方針を達成するために必要な整備を進める。

まちづくりにつながる史跡の整備を進める。

1. 学習拠点としての博物館等の整備推進

学習拠点として飛ノ台史跡公園博物館や郷土資料館の展示の充実、調査拠点施設の整備充実による出土文化財収蔵管理の集約化を図り、出土文化財の公開活用を推進する。

2. 市民が現地にアクセスしやすい環境の整備

近隣住民の快適な住環境と共存を図りながら、案内板や誘導サインの設置など、市民が訪れやすい環境を検討し、整備する。

3. 現地における市民による活用の推進

説明板の充実や史跡用地を利用した活用方法について検討し、必要な整備を推進する。

4. 整備計画の検討

公有地化が進んだ将来に策定する整備計画について調査・検討する。

5. まちづくりにつながる史跡整備の推進

遺跡の西側は海老川上流地区土地区画整理事業地や都市計画道路整備地区と接しており、まちづくりと遺跡の保存が両立するように関係機関等と協議が必要である。

史跡の景観を保護するため、工作物等不要な要素の撤去・移転に向けて所有者等と協議を進める。

6. 調査拠点施設および出土文化財の収蔵保管施設の整備充実

調査拠点である埋蔵文化財調査事務所の移転を含めた施設整備を行い、出土文化財をより適切に収蔵・保管するための環境を整備する。

(7) 基本方針4－「運営・体制の方向性」

取掛西貝塚の適切な保存・活用のため、運営体制を整備する。

史跡の保存・活用、整備を推進するには、行政だけでなく、土地所有者や地域住民、学校、研究者や研究機関、関係行政機関等と連携と協働を図る必要がある。

1. 保存管理・活用の体制づくり

庁内各部署との連携を強化し、文化庁・千葉県教育委員会・他自治体（博物館）・関連機関等の指導・助言・連携により、行政による史跡の保護体制の充実を図る。

2. 市民との連携の強化

管理団体である船橋市が、市民、近隣住民、土地所有者、地域活動団体などと連携・協働しながら、史跡を将来にわたって保存・活用していく体制を整える。

3. 学校教育における活用推進のための体制構築

学校教育における活用を推進するため、教員や学校教育部との連携体制を構築する。

4. 調査研究を推進するための体制整備

取掛西貝塚に関する調査・研究を継続的に行い、史跡の本質的価値に関する保存・活用・整備を効果的に実施できるよう、教育・研究機関、学識経験者、専門家、他自治体（博物館）等と相互的な協力・支援を図り、組織的・人的ネットワークの充実に努める。

<お問い合わせ>

千葉県船橋市教育委員会 生涯学習部 文化課

電話 047 (436) 2887

ファクシミリ 047 (436) 2884

電子メール bunka@city.funabashi.lg.jp

〈フナバシストーリー〉より 1987年© Kazuo Kitai



令和5年度 船橋市所蔵作品展

フナバシストーリー

北井一夫

2023.12.6(水) - 12.24(日)

10:00-17:00(金曜日は19:00まで) | 入場無料

同時開催：市内小中学生による「私の船橋ストーリー」展

主催：船橋市教育委員会 / (公財)船橋市文化・スポーツ公社

協力：G&S根雨

船橋市民ギャラリー

1960年代以降の船橋。団地や新興住宅地が次々と造成され、日本全国から多くの人が移り住むことで人口が急増し、人も、町も、生活様式も急激に変化しました。

写真家・北井一夫(1944-)は、大きく発展を遂げた船橋で1983年から1987年にかけて、町の姿、そこに暮らす人々を撮影し、〈フナバシストーリー〉というシリーズにまとめました。船橋駅で新聞を読みながら電車を待つサラリーマン、ピアノが置かれた団地の一室で家事をする女性、繁華街に集まるリーゼントの若者たち…写真には、白っぽくて明るい、その時代を生きた人々のリアルな「日常」が映し出されています。

当時、北井一夫は、この新しい町の様子が「故郷の風景」となるのか世に問いかけました。撮影から約40年が経過し、〈フナバシストーリー〉の時代の人々は故郷を振り返る年齢となりました。ここに写された風景は、彼らにとって懐かしい風景でしょうか、それとも、変わらない日常の風景なのでしょうか。今、それを確かめる時になりました。

このたび、100点以上に及ぶ〈フナバシストーリー〉のヴィンテージプリント*を一堂に会する展覧会を、撮影された地・船橋で開催します。また、本展覧会では、1970年代に農村社会の営みを撮影した〈村へ〉や、2000年代に身近なものや場所を撮影し、カメラ雑誌に連載された〈ライカで散歩〉など、現実を見届け、相手との関わりを記録し続けた写真家・北井一夫の作品を併せて紹介します。

1980年代の船橋を知る人、或いは、初めてこの風景に出会う人にとって、会場の写真は、新たな船橋の物語を紡ぐきっかけとなるかもしれません。

*ヴィンテージプリント…撮影から数年以内に写真家本人により制作され、相当の年月を経たプリント

北井一夫 | Kitai Kazuo 写真家

1944年、旧満州鞍山の生まれ、日大芸術学部写真学科中退。写真集『抵抗』『三里塚』『村へ』『いつか見た風景』『フナバシストーリー』『1990年代北京』など独特な視座と柔軟な感性による写真作品がある。1972年に日本写真協会新人賞、76年、第一回木村伊兵衛写真賞、2013年、日本写真協会作家賞を受賞。各種印刷物に多数の作品を発表。時代を捉えた写真集の刊行も続き、優れた写真展を多数開催。未来に向けて写真文化を見据えている。2023年10月～11月には、隠岐の島町(島根県)にて個展「隠岐の島」を開催。

関連イベント

○アーティストトーク 北井一夫 × 石井仁志 (20世紀メディア評論)

〈フナバシストーリー〉とその他の北井作品について、ゲストに評論家の石井仁志氏を迎えて対談形式のトークを行います。

日時：12月9日(土) 14:00-16:00

会場：船橋市民ギャラリー 第2ホール

○学芸員によるギャラリートーク

展覧会の見どころを担当学芸員がご紹介します。(各回とも内容は同じです。)

日時：12月15日(金) / 22日(金) 14:00-15:00

会場：船橋市民ギャラリー 展示室

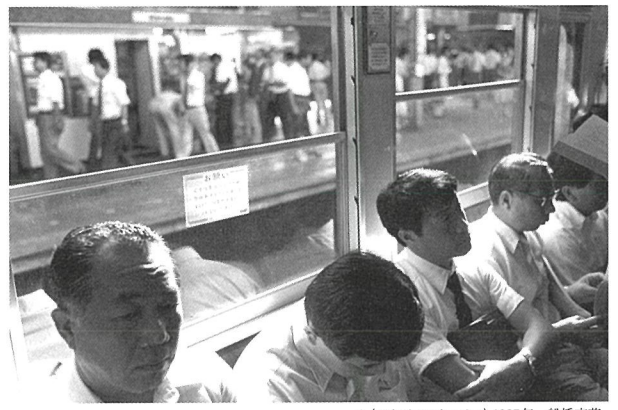
*すべての関連イベントは参加費無料、要事前申し込み(定員30名、先着順)

11月15日(水)から船橋市民ギャラリーの窓口もしくはお電話(047-420-2111)でお申し込みください。

○同時開催 | 市内小中学生による「私の船橋ストーリー」展

市内の小中学生が、図工・美術の授業中に制作した写真作品「私の船橋ストーリー」の成果展を同時開催します。北井一夫(フナバシストーリー)をパソコンやタブレット端末にて鑑賞後、身の回りの風景を撮影、組写真にして、自分の思いを言葉にのせ作品を制作しました。会場では、子供たちが切り取った「今」をお楽しみください。

会場：船橋市民ギャラリー 第1展示室



1 〈フナバシストーリー〉1987年 船橋市蔵



2 〈ライカで散歩〉《木漏日》2008年 作家蔵



3 〈フナバシストーリー〉1987年 船橋市蔵

○特別展示

展覧会に先立ち、北井一夫(フナバシストーリー)の一部を展示します。

会期：11月11日(土)-12月10日(日) 休館日：11月27日(月)

開館時間：9:30-20:00(月～金) / 9:30-17:00(土・日・祝)

会場：船橋市西図書館 2階ギャラリー

〒273-0031 船橋市西船1-20-50 Tel.047-431-4385

JR西船橋駅北口より徒歩約5分

京成本線京成西船駅より徒歩約15分

船橋市民ギャラリー

〒273-0005 船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21ビル3階

Tel.047-420-2111

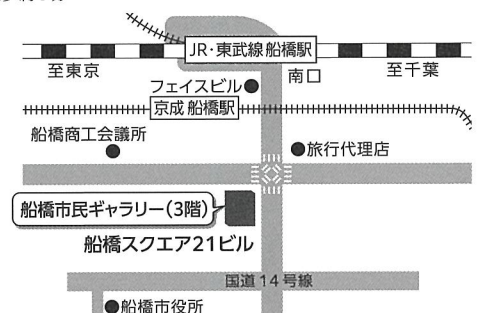
<https://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>



船橋市民ギャラリー

JR船橋駅、東武線船橋駅南口より徒歩約7分

京成船橋駅より徒歩約5分



船橋市バーチャル美術館にて 展覧会・イベント情報を掲載中!

船橋市バーチャル美術館

船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念
第68回成人の日記念
船橋市民駅伝競走大会



開催日 令和6年1月14日(日)

会場 船橋市運動公園～船橋アリーナ

第68回 成人の日記念船橋市民駅伝競走大会 開催要項

- 1 趣 旨** 広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。
- 2 主 催** 船橋市マラソン・駅伝実行委員会
- 3 共 催** 船橋市教育委員会 船橋市スポーツ協会
- 4 主 管** 船橋市陸上競技協会
- 5 後 援** 読売新聞千葉支局
- 6 協 力** 船橋警察署 船橋東警察署 船橋市消防局 (一社) 船橋交通安全協会
船橋市スポーツ推進委員協議会 船橋市スポーツと健康を推進する会
ふなスポ活き生きパークパートナーズグループ ふなばしスポーツ健康パートナーズ
船橋市立御滝中学校 千葉県立船橋北高等学校 株式会社モリタ環境テック
船橋市立豊富小学校 千葉県立船橋古和釜高等学校 船橋市立坪井中学校
NPO 法人千葉県 ACLS 協会
- 7 日 時** 令和6年1月14日(日) 午前9時02分:スタート予定
<荒天等により、主催者の判断で中止になる場合があります>
*開会式 令和6年1月10日(水) 午後6時00分～ 市役所本庁舎 11F 大会議室
(開会式終了後、監督会議を行います。)
- 8 会 場** スタート 船橋市運動公園
フィニッシュ及び表彰式 船橋市総合体育館(船橋アリーナ)
- 9 参加部門** 中学校の部、高等学校の部、一般の部
- 10 コー ス** 詳細はコース図参照 **<工事等によりコース等が変更になる場合があります>**

1区	運 動 公 園 ～ 御 滝 中 学 校	4.0 km
2区	御 滝 中 学 校 ～ 船 橋 北 高 校	4.6 km
3区	船 橋 北 高 校 ～ 東 京 学 館 船 橋 高 校 入 口	3.3 km
4区	東 京 学 館 船 橋 高 校 入 口 ～ 豊 富 小 学 校	2.6 km
5区	豊 富 小 学 校 ～ 船 橋 古 和 釜 高 校 入 口	3.0 km
6区	船 橋 古 和 釜 高 校 入 口 ～ 船 橋 ア リ ー ナ	2.4 km
6区間		19.9 km

- 11 表 彰** 各部1位～3位チームに賞品・賞状、4位～8位チームに賞状を授与する。
また、各部・各区間において区間賞を授与します。
- 12 参加資格** (1)健康診断を受けた健康な方。
(2)市内在住・在勤・在学の男子
(3)令和6年1月10日の開会式および監督会議に責任者(監督)が出席できること。
- 13 出場制限** (1)各部門への参加は1団体につき1チームまでとし、チーム構成は男子のみとする。
(2)一般の部については、日常的に活動が続けている団体・チームとし、本大会出場の為に急きょ結成したチームではないこと。また、中学生・高校生を含むことはできない。
(3)責任者(監督)が複数のチームを兼ねることはできない。
- 14 申込期間** 高等学校・一般の部は、**令和5年12月1日(金)から令和5年12月22日(金)必着**
中学校の部は、**令和5年12月1日(金)から令和6年1月5日(金)必着**
- 15 申込方法** 市ホームページから所定の申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、下記メールアドレスへ申し込んでください。なお、走順は未入力とすること。
- 16 申 込 先** 船橋市マラソン・駅伝実行委員会事務局(船橋市教育委員会 生涯スポーツ課内)
(問合せ先) メールアドレス: supotsu@city.funabashi.lg.jp TEL: 047-436-2912
※申込後3日以内に受付メールをお送りします。もし、メールが届かない場合には確認のため必ずご連絡ください。
※中学校の部は、中学駅伝担当宛にメールとFAXの両方で提出してください。

17 参加料 1チームにつき、中学校3,000円、高等学校5,000円、一般8,000円
(保険料含む) *支払方法：監督会議の受付時(なお、参加料の返金対応は一切いたしません)

*参加者は行事傷害保険に加入します。手続きは主催者で行います。

18 監督会議 令和6年1月10日(水)午後6時～ 開会式・監督会議 船橋市役所11F大会議室

※監督会議に欠席したチームは棄権とみなします。

○持ち物：①参加料、②参加申込書(走順を記載したもの)③各チームで作成したタスキ
④各チームで作成したアスリートビブス1～6区(胸・背計12枚)

19 競技規定 (1)ルールは2023年度日本陸上競技連盟駅伝競走規準を準用する。

(2)チーム編成は、選手6人・補欠2人まで。ただし、中学校の部は補欠3人までとする。

(3)申込後の選手変更は補欠選手との変更のみとし、1区スタート30分前まで認める。

※参加申込書のコピーに変更箇所を赤字で記入し、大会当日の受付に提出すること。

(4)選手の伴走は原則として認めないが、特別な事情がある場合は監督会議時に申告する。

(5)選手・荷物の輸送は、各チームで行うこと。

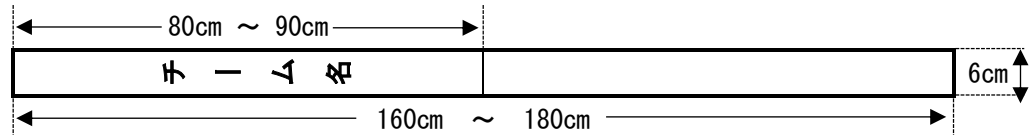
(6)選手は交通法規を守り、審判員・交通整理員の指示に従うこと。

(7)繰り上げスタートは第4中継地点(豊富小学校)において、先頭チームより15分遅れた場合に適用する。

(8)引き継ぎはタスキを用い、タスキは必ず肩から斜め脇下にかけて走ることとする。また、タスキの引き継ぎは手渡しでなければならず、投げ渡しや前走者が落としたタスキを次走者が拾った場合は失格とする。

(9)タスキは下記により各チームで作成する(縦書き)。繰り上げ用は主催者が準備する。

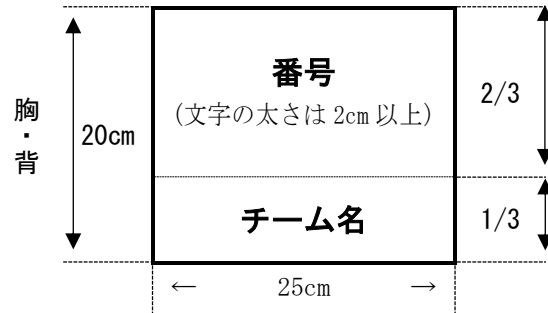
※色は灰色(繰り上げ用の色)以外の色を使用する。



(10)アスリートビブスは下記により各チームで作成する。

*番号は申込後、各チームに通知します。(中学校は学校番号とする。)

※番号、チーム名は大きくはっきりと記入すること。



※中学は白布地に黒字
※高校は白布地に緑字
※一般は白布地に赤字

20 その他 (1)申込締切日を必ず守ってください。申込締切日を過ぎたものは受付いたしません。

(2)申込み多数の場合、運営安全上の理由により、チーム数を制限する場合がございます。

(3)交通安全上等の理由により試走は禁止します。

(4)大会前に、コース・中継所において、トラブル・事故等を起こさないように十分に注意してください。

(5)大会当日、運動公園駐車場は満車が予想されます。幹線道路の交通渋滞や近隣民間店舗への違法駐車等による迷惑防止のため、**公共の交通機関を利用して**ください。

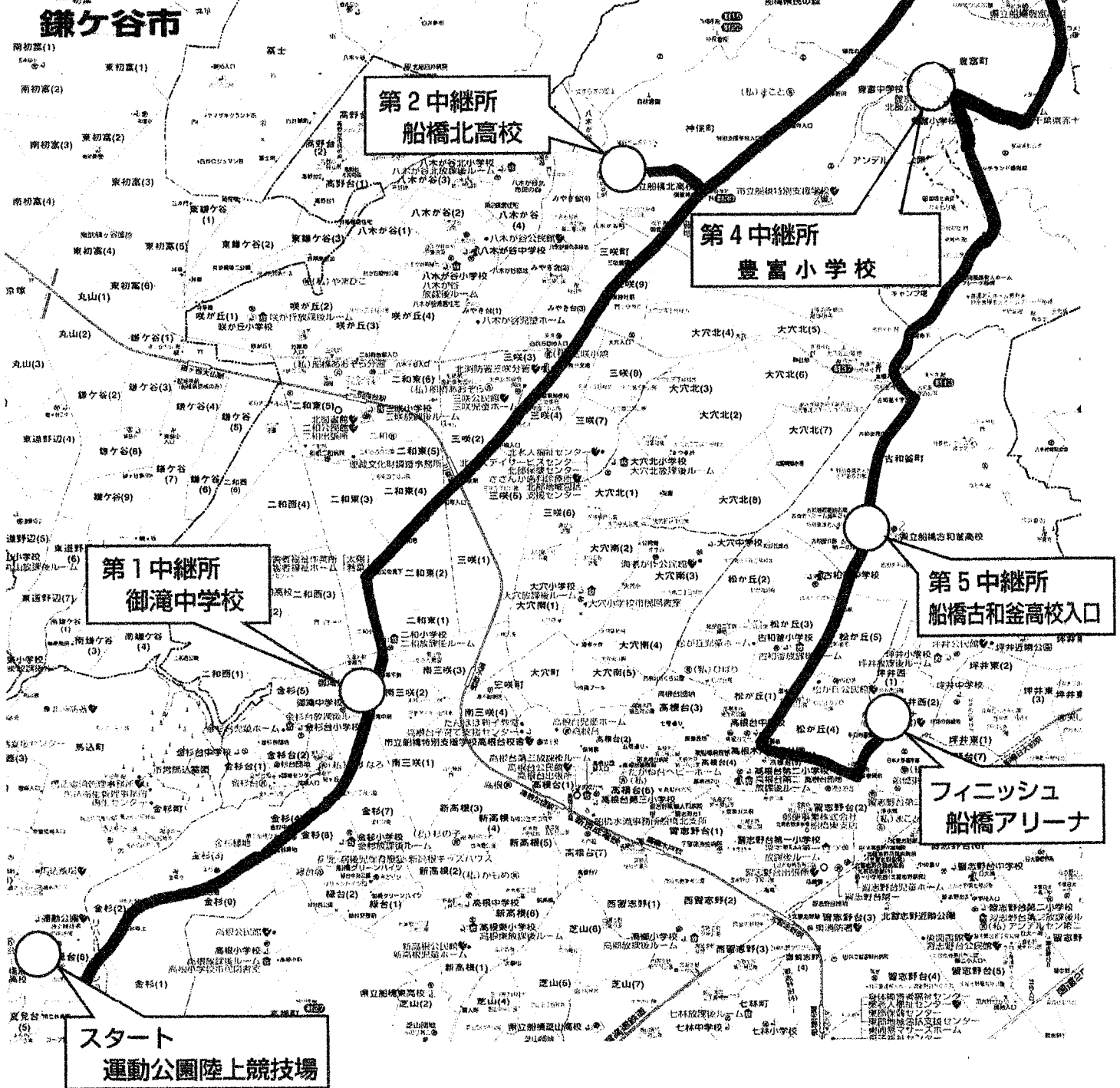
(6)別紙「大会参加当日のセルフチェック10ポイント」を参考に、レース当日の体調をセルフチェックしてください。なお、当日に体調が悪い場合には、参加できません。

21 個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関する法令等を遵守し、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、ホームページ掲載及び冊子による記録発表、その他競技運営及び駅伝に必要な連絡等に利用します。

船橋市民駅伝競走大会コース図

- 1区 運動公園陸上競技場 ~ 御滝中学校
- 2区 御滝中学校 ~ 船橋北高校
- 3区 船橋北高校 ~ 東京学館船橋高校入り口
- 4区 東京学館船橋高校入り口 ~ 豊富小学校
- 5区 豊富小学校 ~ 船橋古和釜高校
- 6区 船橋古和釜高校 ~ 船橋アリーナ



船橋市スポーツ健康都市宣言40周年記念
第42回 船橋市
小学生・女子駅伝競走大会



開催日 令和6年2月3日（土）
会場 船橋市運動公園

第42回船橋市小学生・女子駅伝競走大会 開催要項

- 1 **趣 旨** 広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図る。
- 2 **主 催** 船橋市マラソン・駅伝実行委員会
- 3 **共 催** 船橋市教育委員会 船橋市スポーツ協会 船橋中央ライオンズクラブ
- 4 **主 管** 船橋市陸上競技協会
- 5 **後 援** 産経新聞社千葉総局
- 6 **協 賛** 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 7 **協 力** NPO法人千葉県ACLS協会 船橋市消防局
船橋市スポーツと健康を推進する会
- 8 **日 時** 令和6年2月3日（土） 受付開始8：00～（予定）
○受付・開会式の詳細につきましては、参加者に後日連絡します。
※雨天決行。なお、荒天等により、主催者の判断で中止になる場合があります。
- 9 **会 場** 船橋市運動公園
※船橋市運動公園陸上競技場は改修工事等によりコースが変更になる場合があります。

10 各部の招集完了時刻・スタート時刻・区間(距離 km)

部 門	招集完了時刻	スタート時刻	1区 女子	2区 男子	3区 女子	4区 男子	5区 女子	6区 男子	合計
小学校 男女の部	8：50	9：10	1.85	1.60	1.60	1.60	1.60	1.85	10.10

今回、小学校の部は、男女混合のみとなります。

部 門	招集完了時刻	スタート時刻	1区	2区	3区	4区	5区	合計
一般の部	8：50	9：11	1.75	1.40	1.40	1.40	1.75	7.70
中学校の部	9：55	10：15	2.88	1.90	1.90	1.90	2.15	10.73
高等学校の部	9：55	10：15						

- 11 **表 彰** 各部の1位のチームには優勝旗を授与します。
小学校・中学校の部は、1位～3位までのチームに賞状・賞品、
4位～10位までのチームに賞状を授与します。
高等学校・一般の部は、1位～3位までのチームに賞状・賞品、
4位～6位までのチームに賞状を授与します。
また、中学校・高等学校・一般の部は、各区間に区間賞として賞状・賞品を授与します。
表彰式につきましては、記録集計が終了次第行う予定です。詳細は後日連絡します。

12 参加資格

- (1) 全部門共通
○令和6年1月29日（月）の監督会議に出席できること。
○別紙「大会参加当日のセルフチェック10ポイント」を参考に、レース当日の体調をセルフチェックしてください。なお、当日に体調が悪い場合には、参加できません。
- (2) 小学校・中学校の部
○市内在学の小学生・中学生
○本年度の定期健康診断において異常なしと診断され、学校長が参加を認めた児童・生徒。
- (3) 高等学校の部
○本年度の定期健康診断において異常なしと診断され、学校長が参加を認めた生徒。
○高等学校の部は、他のチームとの混成、近隣市の参加も認められます。
- (4) 一般の部
○健康診断を受けた健康な方
○一般の部は、他のチームとの混成でも認められます。
○一般の部は、高校生以下は出場できません。

- 13 **出場制限** 小学校・中学校の部は、各校1チームとなります。

高等学校・一般の部は、チーム数の制限はありません。

- 14 **申込期間** 令和5年12月15日（金）から令和6年1月12日（金）

- 15 **申込方法** 市ホームページから所定の参加申込書等をダウンロードし、必要事項を入力の上、メール等で提出してください。なお、走順につきましては大会当日の受付で確認しますので記載不要です。
○各部門により提出書類および提出先が異なります。以下をご確認ください。

部門	提出書類	提出期日と提出先
(1) 小学校の部 中学校の部	①参加確認票 ②参加申込書 (小学) 参加申込書 (中学)	①参加の有無に関わらず、 <u>1月12日(金)までに事務局宛にメールまたはFAXで提出してください。</u> ②参加する学校は、 <u>1月26日(金)までに</u> ・小学校は事務局宛にメールで提出してください。 ・中学校は中学駅伝担当宛にメールとFAXの両方で提出してください。
(2) 高等学校の部 一般の部	・参加申込書 (高校) ・参加申込書 (一般)	<u>1月12日(金)までに事務局宛にメールで提出してください。</u> supotsu@city.funabashi.lg.jp

16 参加料 (保険料を含む)

1チームにつき、小学校2,000円、中学校2,000円、高等学校・一般3,000円

○支払方法：監督会議の受付時 (なお、参加料の返金対応は一切いたしません)

○参加者は行事傷害保険に加入します。手続きは主催者で行います。

17 申込先

(問合せ先)

船橋市マラソン・駅伝実行委員会 事務局

住所：船橋市湊町2-10-25 船橋市教育委員会生涯スポーツ課内

メールアドレス：**supotsu@city.funabashi.lg.jp** ☎：047-436-2912

18 監督会議

令和6年1月29日(月)午後6時～ 船橋市役所11階 大会議室

※監督会議に欠席した場合は出場できません。

○持ち物：①参加料 ②各チームで作成したタスキ

③各チームで作成したアスリートビブス1~5(6)区 (胸・背計10(12)枚)

※参加申込書の持参は不要となりました。

19 競技規定

(1)ルールは2023年度日本陸上競技連盟駅伝競走規準を準用する。

(2)チーム編成は、選手5人・補欠3人まで、計8人以内とする。ただし、小学生の部は、選手6人・補欠4人までとする。

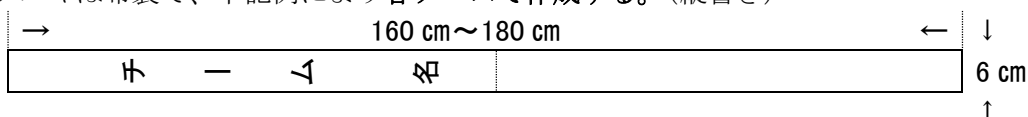
(3)選手の走順は、参加申込書のコピーに記入して大会当日の受付に提出する。

(4)レース中に走者が不慮の事故のため競技を中止した場合は、次の走区から次走者を出発させることができる。この場合の出発時刻は、最終走者と同時とし、オープン参加として取り扱う (総合記録は認定しないが、事故による区間以外の区間記録は認める。但し、小学校の部は除く)。

(5)伴走は一切認めない。但し、主催者が認め、監督会議で承認された場合を除く。

(6)タスキは、必ず肩から斜め脇下にかけて走ることとする。タスキの引き継ぎは手渡しでなければならず、投げ渡しや前走者が落としたタスキを次走者が拾った場合は失格となる。

(7)タスキは布製で、下記例により各チームで作成する。(縦書き)



(8)アスリートビブスは下記例により各チームで作成する。

(例) チーム名「船橋」、チーム番号「3」、区間「1区」の場合



20 個人情報の取り扱いについて

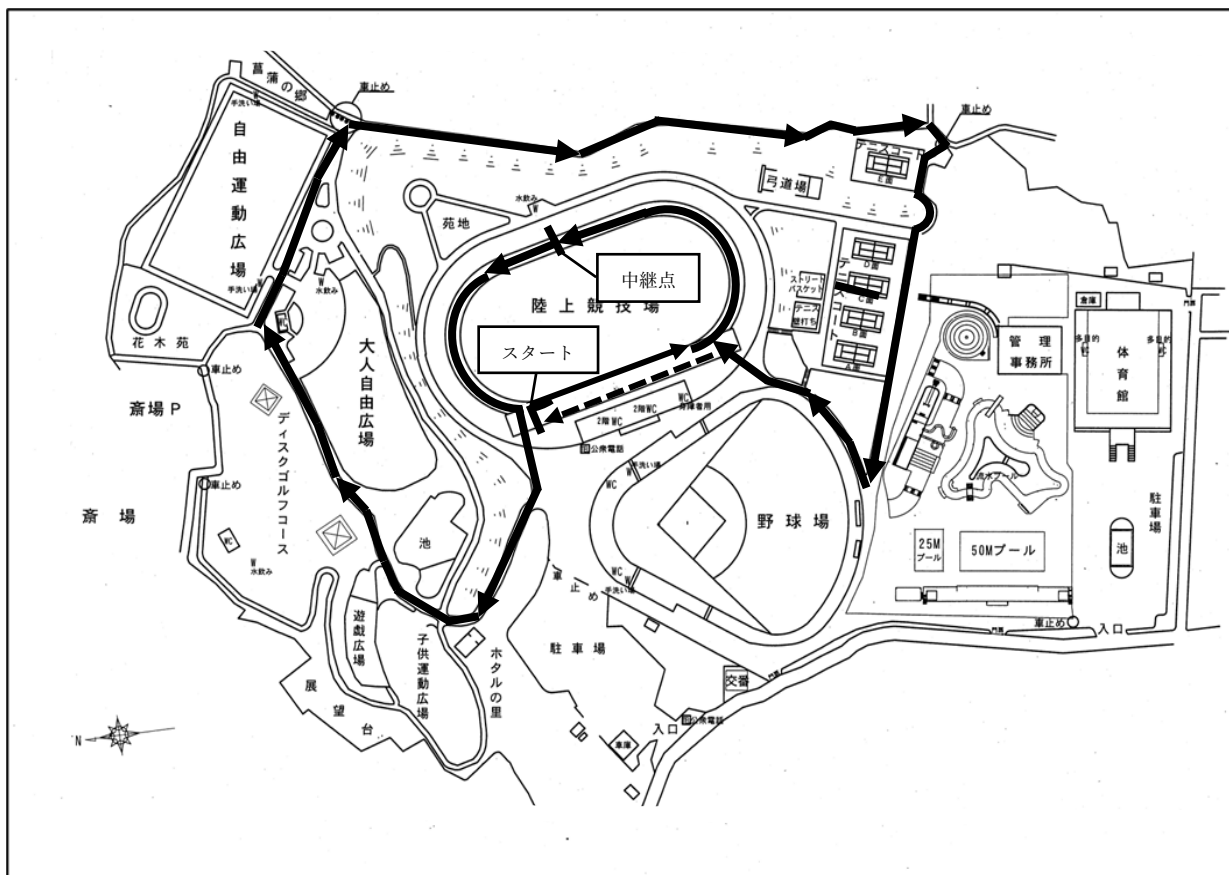
個人情報保護に関する法令等を遵守し、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用いたします。

21 その他

【駐車場】大会当日、運動公園駐車場は満車が予想されます。幹線道路の交通渋滞や近隣民間店舗への違法駐車等による迷惑防止のため、公共の交通機関を利用してください。

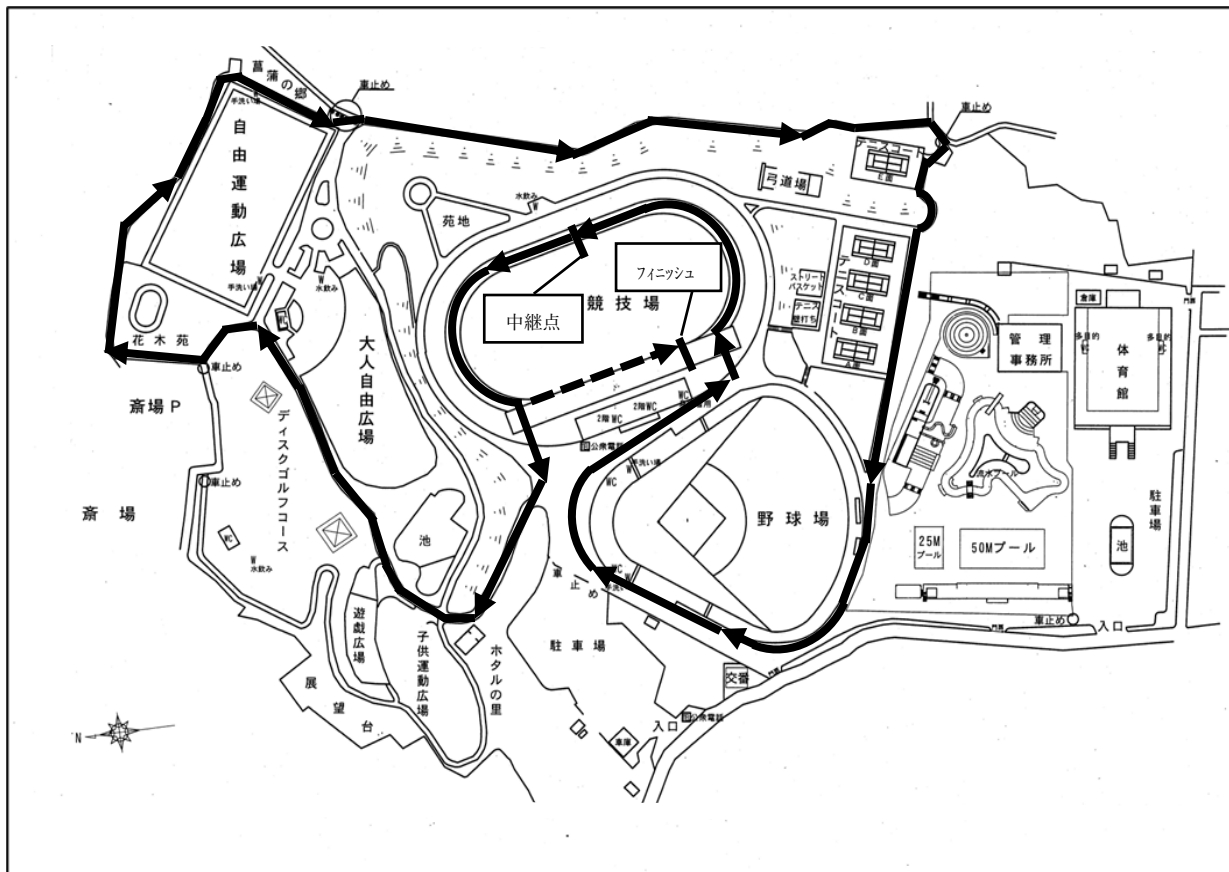
中学・高校の部 コース説明図

1区…スタート地点→トラック1周→競技場外コース1周→競技場→ホームストレート逆走→
 競技場外コース1周→競技場→中継点(バックストレート)



2～4区…中継点(バックストレート)→競技場外コース1周→競技場→中継点(バックストレート)

5区…中継点(バックストレート)→競技場外コース1周→競技場→トラック約1周→フィニッシュ



小学校・一般の部 コース説明図

- 小学校の部** 1区…スタート地点→トラック1周→競技場外コース1周→競技場→小学中継点(バックストレート)
2~5区…小学中継点(バックストレート)→競技場外コース1周→競技場→小学中継点(バックストレート)
6区…小学中継点(バックストレート)→競技場外コース1周→競技場→トラック約1周→フィニッシュ

- 一般の部** 1区…スタート地点→トラック1周→競技場外コース1周→競技場→一般中継点(ホームストレート)
2~4区…一般中継点(ホームストレート)→競技場外コース1周→競技場→一般中継点(ホームストレート)
5区…一般中継点(ホームストレート)→競技場外コース1周→競技場→トラック約1周→フィニッシュ

